

見つめ直そう!

岩国自興の行動指針

明るい挨拶、深い思考、約束を守る姿勢、新たな挑戦、そして助け合い。一人ひとりの主体的な行動が好循環を生み、組織の成長へとつながっています。今回は、各項目で行動指針を体現していると名前のあがった5名の社員にその思いを伺いました!

01 挨拶

Approach

「元気な挨拶」の力

子どもの元気に学び笑顔を繋ぐ挨拶
通学中の子もたちの元気な挨拶に励まされ、「今日も頑張ろう」と前向きになります。挨拶には人を元気にする力があると実感しているからこそ、「相手に笑顔になってもらいたい」という想いを込め、日々の挨拶を大切にしています。

いつも元気な挨拶をしている
Fさんに聞きました!

工場主任

T.Fさん



挨拶で意識していること

感謝と大きな声で活気を

大きな声で「ありがとう」と伝えることを心がけています。全社的に挨拶やお見送りを徹底した結果、お客様から「またお願いね」と声をかけていただくこともありました。事務所内でも「いってらっしゃい」と自然に声をかけ合うようになり、以前より雰囲気明るくなったと感じています!

02 思考

Think

発信につながる「思考」

疑問を放置せず 会社をより良くするために意見を発信

物事を曖昧なままにしておくが好きではありません。道端のゴミを拾うのが当たり前のように、業務においても「なぜそうなるのか」という根本的な理屈を理解するまで追及します。トップダウンの指示に従うだけの組織では、成長はいずれ頭打ちになるでしょう。会社をより良くするためには、現場の私たちが疑問を持ち、意見を発信することが不可欠です。言いにくいことでも私が率先して上司に伝えているのは、他の人も意見を出しやすい環境になってほしいという想いがあるからです。

会社のことを考え、よく発信
しているKさんに聞きました!

本社 所長

T.Kさん



社内発信する際に注意していること

順序立てて丁寧に説明することで理解を促す

情報を発信する際は、相手が正しく理解できるよう「背景から結論まで」丁寧に伝えることを徹底しています。説明の工程を省いて結論や途中から話しても、相手には真意が伝わりません。たとえ時間がかかっても、手順を飛ばさず順序立てて説明することが確実な業務遂行につながると考えています!

03 約束

Commitment

「約束」を守るための工夫

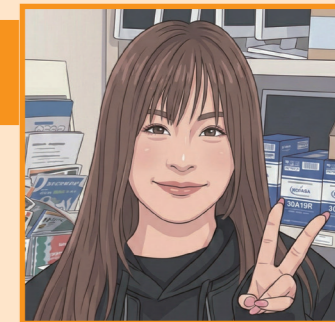
チームの助け合いで納期を守る

お客様からのご依頼に即応するため、チーム連携を重視しています。一人での対応が難しいときも、会話を耳にした仲間が「私が行こうか」と助け船を出してくれる心強い環境です。こうした連携の背景として、誰もが相談しやすい雰囲気づくりを大切にしています。「おかえりなさい」「いってらっしゃい」といった声かけや、体調を気づかう意識がスムーズな業務の基盤となっています。

約束の遵守率に定評のある
Sさんに聞きました!

柳井営業所 係長

H.Sさん



周囲からの信頼につながったエピソード

誠実なコミュニケーションが結ぶ関係

お客様から指名で連絡をいただくと、信頼されているのだと嬉しく思います。また、メーカー様との同行販売の際にも、日頃の活動に対するお褒めの言葉をいただくことができました。周囲へ誠実に向き合い続ける姿勢が日々の絆につながっていると実感しています!

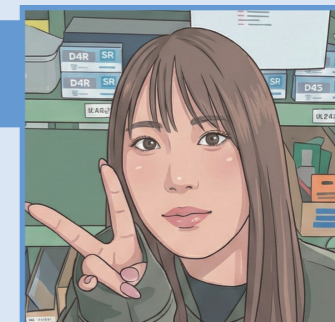
04 挑戦

Challenge

パートから社員へのステップアップに
挑戦したMさんに聞きました!

周東・玖珂営業所

M.Mさん



「挑戦」を決めた理由と乗り越えた壁

不安を解消してくれた仲間の存在

育児が落ち着き、フルタイム勤務が可能になったことで正社員への挑戦を決めました。部品業務は奥が深く、商品名が異なっても同じ規格である場合など、判断に迷うことがあります。「お客様の要望に合っているか」と不安を感じたことも。しかし、周囲が親身に相談に乗ってくださるおかげで乗り越えられました。この恵まれた環境と仲間の存在が、私の支えになっています!

これからの「挑戦」と目指す成長

知識を深め迅速な対応を

今後はさらに業務知識を深めたいと考えています。新しい部品を覚えるには経験が不可欠です。まだ勉強中ですが、実務を通じて経験を重ね、できることを着実に増やし、頼られる存在を目指します。特に、上司のように知識が豊富で、お客様へのレスポンスが早い社員になるのが理想です。臨機応変な対応ができるよう、日々の業務を通じて成長します!

05 協力

Teamwork

他者への協力姿勢が素晴らしい
Iさんに聞きました!

山口営業所

T.Iさん



「協力」の意識が芽生えた背景

助け合いのサイクルで築く協力体制

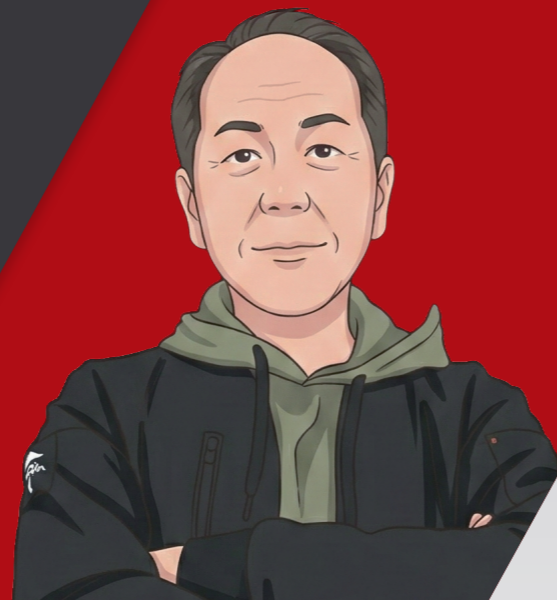
これまでの社会人経験を通じ、「自分にできることもあれば、どうしてもできないこともある」と学んできました。一人で全てを完璧にこなそうとするのではなく、得意なこと互いに補い合う大切さを実感したのです。そこで1月中旬、山口営業所のメンバーを集め、「誰か一人に負担が集中する状況をなくし、皆で協力していこう」と話し合いの場を設けました。仲間に頼り、頼られる。そのサイクルが、今の良い協力体制につながっています!

協力がもたらすメリット

個々の負担が和らぎ、学びや成長にもつながる

業務を分散して行うことで一人ひとりへの負担が減り、教え合う余裕も生まれます。私自身、「あの作業をしなれば」と自然に体が動くようになりました。「協力」は効率化だけでなく、個々の成長にもつながっていると実感しています!

成功の種は、 日常の中に!



宇部営業所 所長 Y.Kさん

一歩ずつの積み重ねが「信頼」を築く

今回は、宇部営業所のKさんにご自身の経験に基づいた仕事への向き合い方を伺いました。日々の業務で確かな成功を積み上げるためのヒントを探ります!

入社後を振り返って思うこと

時代とともに変わる営業の形

若手時代と現在とでは、社会環境が大きく異なります。私自身、目標達成のために多少の無理をすることもありました。今はコンプライアンスを含め、**より丁寧で質の高い仕事が求められる時代**です。時代が移り変わっていくにつれて、営業活動のスタイルも少しずつ変化していると考えています。

小さな「成功体験」が成長につながる

よく「失敗から学ぶ」と言われますが、私は「**成功体験**」を積む重要性を感じています。不得手なことや選択ミスを繰り返して自信を失うより、まずは得意なことを確実に遂行して成功を重ねる方が精神的にもプラスになると思うのです。もちろんリスク管理は必要ですが、**結果につながるより良い選択に焦点を当てること**が成長への近道になると考えています!

日々の業務で「成果」を生む意識

チャンスは日常の中に

成果を生むためのチャンスは、日々の業務の中にもあります。例えば電話で注文を受けた際は、**依頼された商品だけでなく必要になりそうな関連商品を1つ提案してみる**。それが受注になれば確かな「成功体験」です。こうした小さな成功の積み重ねが徐々に自信を育むのではないのでしょうか。

次世代へのメッセージ

いつの時代も仕事の基本は信頼関係

時代やツールが変わっても、仕事の基本は「**人と人との関係**」です。かつては、寒い季節に肉まんやコーヒーを通じてお客様と交流することもありました。今なら別の方法になるでしょうが、日頃の感謝を伝え合うことはいつの時代も人間関係を築ききっかけになります。ぜひお客様からの信頼を大切に、自分なりの成功体験を一歩ずつ積み重ねていってください!

我が家の アイドル! 愛しのペット自慢

vol.1

雨の日に保護された元野良猫の小太郎さんと、
家族会議の末に迎えられた豆柴のココちゃん。家族を笑顔にし、
日々の疲れを癒やしてくれるかわいいペットに注目です!

My Pet's Profile

娘が名付けました!

名前: ココ
種類: 豆柴
年齢: 4歳
性別: メス



ペットとの出会いとお迎えした決め手

家族の希望を尊重して迎えた豆柴
ココとの出会いのきっかけはコロナ禍でした。娘が「犬を飼いたい」と言い出したのです。妻と娘は洋犬希望でしたが、私はどうしても和犬が良く、話し合いの結果、間を取って豆柴を飼うことに。熊本県のブリーダーさんを見つけ、家族で見に行くと、娘はその場で「この子がいい!」と即決。今では大切な家族の一員です。



取締役 人財管理部長

M.Nさん

忘れられないエピソード

こたつでくつろぐ姿に癒やされる日々
日々の癒やしになっているのが、ココがこたつに入っている姿です。こたつが好きで、冬になると頭だけ出して人間のように寝ていることも。その寝姿を見ると、とても癒やされます!



うちの子のここがかわいい!

ツンデレな点が、ココの可愛いところ。寄ってくる時もあるけれど、噛むこともあります。また、寝ているときに起こすと不機嫌になりますし、ご飯を食べると元気になります(笑)まるで人間のような振る舞いが愛おしくてたまりません.....!

My Pet's Profile

当時、とても小さかったので「小さい太郎」で小太郎と名付けました!

名前: 小太郎
種類: 雑種
年齢: 推定3歳
性別: オス



ペットとの出会いとお迎えした決め手

雨の日に保護した運命の出会い
会社の隣にある空き家で生まれた子なのですが、ある雨の日、道路で弱っているところを副社長が保護してくださったのです。母猫に置いていかれたのだと思います。以前から見守っていたため愛着があり、私が引き取ることになりました。家に連れて帰るとすぐに懐いてくれました!



保護した日



本社 パート

A.Sさん

忘れられないエピソード

近所中を大搜索した脱走事件
家に来て数か月が経った頃、子どもが誤って開けた窓から脱走してしまっていました。近所を大搜索した末、近くの草むらから首輪の鈴の音が聞こえて、無事に発見。心底ほっとしました。小太郎自身も外の世界が怖かったようで、それ以来、窓を開けても外に出ようとしなくなりました。心配で気が気でなく、本当にハラハラした出来事でした。

うちの子のここがかわいい!

毎朝玄関まで見送りしてくれるだけでなく、**仕事から帰ると窓から外を覗いて待っていてくれます**。そのような可愛い姿を見ると、疲れも吹き飛びます!